

①▶▶ 本学科の教育目標

世界はもちろん、日本国内においても多言語化、多文化が進んでいる今日、日本人にとって、異文化間の問題解決能力、人間関係を築くコミュニケーション能力を持つことがこれまでになく重要性を増しています。自身の文化と異文化についての確かな知識と経験を蓄え、ことばで伝えられることと、ことばだけでは伝えられないことを熟知した上で、日本語と外国語を駆使して、異文化の人々との理解と協力を築いていける力——国際言語学科は、そのようなコミュニケーション能力と国際感覚を備えた人材の育成を目指しています。

②▶▶ 本学科の教育方針

本学科の教育目標を実現するために、次のような方針で皆さんの成長を支え、手助けしていきたいと考えています。

- ・国際共通語の英語と、世界に影響力を増しつつある中華圏の共通語である中国語、この二つの主要言語を深く学ぶ機会を提供し、ことばの学習を通して、言語の背景にある文化の豊かさ、多様さにふれ、その使い手である人間に対する深い理解力を身につけられるよう支援します。
- ・日本語を外国語として学ぶ人々の視点から、自分たちの日本語を徹底的に見直していくと、日本語を母語として無意識に使っているだけでは気づくことのない日本語のすばらしさ、面白さ、難しさを発見します。そのような発見を楽しみながら、日本語を正しく使いこなし、知識や情報、自分の考えや気持ちを、様々な場面で的確に伝えることのできる高度な表現能力を身につけられるよう支援します。
- ・外国の言語と文化を学ぶことを通して、(1)日本の言語と文化を再考し、その素晴らしさを理解し、日本人としての誇りと自信をもって世界の舞台上で活躍できる能力と、(2)様々な国籍の人々が訪れ、生活する日本の地域社会の中で、異文化の人々を理解し、助けることのできる能力を身につけられるよう支援します。
- ・日本語で自分を表現する能力がなければ、外国語で自分を表現することも、自分の文化のすばらしさを語ることも不可能です。何語を学ぶ場合でも、母語としての日本語能力を磨き上げることこそ、実社会で本当に役立つ高度な外国語能力を獲得するための基礎であると考え、日本語能力の向上と強化を支援していきます。
- ・今の自分を変えていくことに焦点を置き、常に一つ上の目標に向かって自発的に学んでいけるよう、学ぶ「楽しさ」と達成感の味わえる授業を心掛けます。そして、「何ができるようになったか」と絶えず自問自答しながら、授業で得た知識や技能を、海外留学、国内外でのインターンシップ、地域における多言語ボランティアや外国語ミュージカル等で生かせるよう、様々な実践と力試しの機会を提供していきたいと考えています。

③▶▶ 本学科の求める学生像

上記の教育方針に賛同し、本学科の目標に向かって共に学んで行こうとする皆さんに、私たちは、次のような資質を求めています。以下の条件をよく吟味し、本学科で4年間頑張っていけるかどうか、慎重に判断してください。

- ①現状に満足せず、高い目標に向かって頑張ることのできる人
- ②ことばに関心があって、人とコミュニケーションをすることが好きな人
- ③ことばと、ことば以外の表現手段を駆使して、自分を積極的に表現することに関心がある人
- ④国際的な環境の中で、日本をより深く理解し、自分を再発見したいと思う人
- ⑤グローバルな社会にふさわしい知識や技能を身につけ、人の役に立つ仕事につきたいと考えている人

④▶▶ 入学前指導

語学の学習ほど、「継続は力なり」ということばがよく当てはまるものではありません。本学科に入学し、上に書かれているような目標に向かって、やる気のある他の学友と切磋琢磨していきたいと思った皆さんには、その目標の実現に向けて、ぜひ入学前から準備を始めてもらいたいと思います。そのために、大学での勉強に必要な日本語力や最低限の英語力が備わっているかどうかを自己吟味して、足りないところを伸ばしていけるような課題を用意して、皆さんを待っています。